

2010年8月22日 ドイツ
シトロエン・レーシング発

世界ラリー選手権(WRC)ドイツ

～ローブ・エレナ組ドイツ8連勝、優勝に向けて万全の体制で日本へ～

オープニングステージで1、2位を独占したシトロエン・タル・ワールドラリーチーム。ラリー・ドイツの終わりを告げるフラッグが振られたとき、C4WRCは再びワンツー・フィニッシュを遂げたのでした。セバスチャン・ローブ/ダニエル・エレナ組はラリー・ドイツで8連勝という新記録を達成、初コンビとなったダニ・ソルド/ディエゴ・ヴァレージョ組はノーミスで2位につけ、チームの勝利に花を添えました。これで、C4WRCは32回目の勝利。これはクサラWRCと並ぶ記録で、C4WRCはラリーの歴史のなかでも最強のマシンに名を連ねたこととなります。



非常にハードな2日間を終え、最終日はぐっと短い85キロの勝負となりました。クルーはモーゼルのぶどう畑に戻って、ドロンタールとモーゼルヴァインを2回ずつ走り、トリーアの旧市街を走り抜けるキルクス・マクスィム(大円形競技場)と呼ばれるスーパースペシャルステージでフィニッシュとなります。

デイ2を終えて1、2位を占めたセバスチャン・ローブとダニ・ソルドはピレリ「P-Zero」ソフトコンパウンドタイヤを履いてトリーアのサービスパークを出発。最後まで走りきることを何より重視した彼らは極端な速さよりも、安定性を優先したのです。「いつもそれが最善の策とは限らないけど、できるだけ今の位置を維持したい、と思ったんだ」と、途中のサービスパークでローブは語りました。「ソフトコンパウンドだと何力所かある濡れた路面でしっかりグリップできるし、雨が降っても対応できるからね」

「方針は昨日のパンツァープラッテで決まった」とソルドは振り返ります。「今日はとにかく逃げるのみ。1、2位に入ればマニファクチャラーズポイントの点から見て、シトロエンに大きな貢献になるからね」

2周目も好調な走りで1、2位独占を確実にし、最後のキルクス・マクスィムでは大きな声援のなか、ローブは8回連続の勝者としてフィニッシュラインを走り抜けました。「ドイツで勝つのはいつもとてもうれしい。ターマックでC4WRCを走らせるのは大好きだし、何よりこんなにたくさんの観客から熱狂的に応援してもらったらやる気ぐんと出るしね!」と、6度の世界チャンピオンに輝くローブは満足そうです。「今回もまた、このマシンを信頼して走ることができた。パーフェクトで速くて、タイヤの一番いいところを引き出してくれる、頼もしいクルマだね。これで2010年5回目の勝利になる。7回連続の世界タイトル獲得という夢に一歩近づいた」

「コ・ドライバーにディエゴ・ヴァレオを迎えての初めてのラリー、とても満足しているよ」ラリー・ドイツで3度目の2位となったソルドは振り返ります。「ローブは全体的に僕よりちょっと速かった。デイ1ではいい勝負だったけど、最長SSで差がついたね。でも、チームの期待に応えることはできたし、マニファクチャラーズポイントのリードを広げる役に立ったことをうれしく思うよ」

「シトロエンはメキシコ、ポルトガル、ブルガリアの大会同様、表彰台独占です」とシトロエン・レーシング・チーム代表オリビエ・ケネルは付け加えました。「もちろん、優勝のみを目指してきたわけですが、優勝の味はいつも格別ですね。シトロエン・レーシングにとってはC4WRCがクサラWRCの記録に並んだというのも非常にうれしいことです。52回のラリーで32勝。そしてこれからも勝利を重ねていくことでしょう」

【最終結果】

優勝	ローブ／エレナ	シトロエンC4	3時間59分38秒3
2位	ソルド／ヴァレージョ	シトロエンC4	+ 51秒3
3位	オジェ／イングラシア	シトロエンC4	+2分13秒3
4位	ラトバラ／アンティラ	フォードフォーカス	+2分33秒9
5位	ソルベルグ／パターソン	シトロエンC4	+06分47秒7
6位	ウィルソン／マーティン	フォードフォーカス	+08分46秒7
7位	ライコネン／リンドストーム	シトロエンC4	+08分50秒5
8位	アル・カシミ／オール	フォードフォーカス	+17分53秒0
9位	Vエルディック／バイズマンズ	フォードフォーカス	+17分53秒0
10位	サンデル／アクセルソン	シュコダ・ファビア	+17分58秒8

【現在までのドライバーズポイント】

		SWE	MEX	JOR	TUR	NZL	POR	BUL	FIN	GER	JAP	FRA	ESP	GBR	TOTAL
1	Loeb	18	25	25	25	15	18	25	15	25					191
2	Ogier	10	15	8	12	18	25	12	18	15					133
3	Latvala	15	10	18	4	25	0	8	25	12					117
4	Solberg	2	18	15	18	0	12	15	12	10					102
5	Sordo	12	0	12	0	10	15	18	10	18					95
6	Hivonen	25	12	0	15	12	10	10	0	0					84
7	Wilson	6	0	10	6	8	8	2	8	8					56
8	Villagra	-	6	6	8	2	4	-	-	-					26
9	Solberg	8	8	2	0	6	0	1	0	0					25
10	Raikkonen	0	0	4	10	-	1	0	0	6					21

【現在までのマニファクチャラーズポイント】

1	Citroën Total WRT	30	31	40	25	30	33	43	33	43					308
2	BP Ford Abu Dhabi	40	27	20	24	40	12	22	25	12					222
3	Citroën Jr. Team	14	18	16	27	-	31	19	20	23					168
4	Stobart M-SportFord	14	14	16	12	18	10	14	10	10					118
5	Munchi's Ford	-	8	8	10	6	8	-	-	-					40

次回はいよいよ舞台を北海道としたラリー・ジャパンが開幕となります（9月10～12日）。

プジョー・シトロエン・ジャポンはドライバーたちの来日情報などをタイムリーに配信していくことによって、WRCでのシトロエン車の高いパフォーマンスを広くアピールして参ります。